

苫小牧工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	英語Ⅱ (機械系)						
科目基礎情報											
科目番号	0022		科目区分	一般 / 必修							
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 4							
開設学科	創造工学科 (一般科目)		対象学年	2							
開設期	通年		週時間数	4							
教科書/教材	教科書: 「MY WAY English Communication Ⅱ」 (三省堂) / ワークブック: 「MY WAY English Communication Ⅱ ワークブック (スタンダード)」 (三省堂) / 文法テキスト: 1年次購入の文法テキスト「Vision Quest English Grammar 24」 (啓林館) / 夏期課題: 「The Canterville Ghost」 (Oxford University Press)										
担当教員	東 俊文										
到達目標											
<p>1. 基礎的な英語で書かれた社会、文化、科学などをテーマにした文章を理解し、その内容を日本語で説明できる。</p> <p>2. 熟語、構文、文法を理解し、それらを使って表現ができる。</p> <p>3. 継続的な学習により、英検準2級の取得が現実的となる英語力を身につけ、英語学力テストで自身の英語力を把握できる。</p>											
ルーブリック											
	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)								
評価項目1	基礎的な英語で書かれた社会、文化、科学などをテーマにした文章を理解し、その内容を日本語で正しく説明できる。	基礎的な英語で書かれた社会、文化、科学などをテーマにした文章を理解し、その内容を日本語で説明できる。	基礎的な英語で書かれた社会、文化、科学などをテーマにした文章を理解できず、その内容を日本語で説明できない。								
評価項目2	熟語、構文、文法を理解し、それらを使って正確に表現ができる。	熟語、構文、文法を理解し、それらを使って表現ができる。	熟語、構文、文法を理解できず、それらを使って表現ができない。								
評価項目3	継続的な学習により、英検準2級の取得が現実的となる英語力を身につけ、英語学力テストによって自身の英語力を把握できる。	継続的な学習により、英検準2級の取得が現実的となる基本的な英語力を身につけ、英語学力テストによって自身の英語力を把握できる。	継続的な学習により、英検準2級の取得が現実的となる基本的な英語力を身につけられず、英語学力テストによって自身の英語力を把握できない。								
学科の到達目標項目との関係											
<table border="0"> <tr> <td>I 人間性</td> <td>1 I 人間性</td> </tr> <tr> <td>II 実践性</td> <td>2 II 実践性</td> </tr> <tr> <td>III 国際性</td> <td>3 III 国際性</td> </tr> </table>						I 人間性	1 I 人間性	II 実践性	2 II 実践性	III 国際性	3 III 国際性
I 人間性	1 I 人間性										
II 実践性	2 II 実践性										
III 国際性	3 III 国際性										
教育方法等											
概要	1年生で学んだ英語力を基礎として、教科書を中心に「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能のバランスのとれた総合的な力が身につくように指導する。教科書の英文読解や文法事項の説明と演習、音読練習などを通して、英検準2級を目安とする英語力の習得を目指す。										
授業の進め方・方法	「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能の総合的な英語力を高めるために、教科書にある英文の語彙、語法、文法、構文の説明や文法演習、音読やペア練習などの活動を行なう。文法テキストは教科書での練習問題を補完するものとして使用し、また、語彙や文法などの習得度確認のため演習を適宜実施する。定期試験30%、達成度試験30%、課題・各種テスト40%の割合で評価する。学業成績が60点未満のものに対して再試験を実施する場合がある。この場合、再試験の成績は定期試験および達成度試験の成績に置き換えて再評価を行う。										
注意点	授業の予習・復習を毎回行い、授業で出される課題などに真剣に取り組むこと。定期試験に向け、計画的に試験勉強を進めること。また、授業の時には英和辞書を必ず持参すること。										
授業の属性・履修上の区分											
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング <input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業											
授業計画											
	週	授業内容	週ごとの到達目標								
前期	1stQ	1週	Lesson 1 Dances Around the World	Lesson 1の英文を理解し、内容を説明できる。SVO(O = that / what節)を理解し運用できる。SVO(O = if / whether節)を理解し運用できる。							
		2週	Lesson 1 Dances Around the World	Lesson 1の英文を理解し、内容を説明できる。SVO1O2(O2 = if / that / what節)を理解し運用できる。							
		3週	Lesson 2 Katsura Sunshine - Making the World Laugh	Lesson 2の英文を理解し、内容を説明できる。形式主語のitを理解し運用できる。							
		4週	Lesson 2 Katsura Sunshine - Making the World Laugh	Lesson 2の英文を理解し、内容を説明できる。形式目的語のitを理解し運用できる。							
		5週	Lesson 3 Living with Nature - Takita Asuka's Journey	Lesson 3の英文を理解し、内容を説明できる。現在完了形・現在完了進行形を理解し運用できる。							
		6週	Lesson 3 Living with Nature - Takita Asuka's Journey	Lesson 3の英文を理解し、内容を説明できる。過去完了形・過去完了進行形を理解し運用できる。							
		7週	Lesson 4 Sesame Street	Lesson 4の英文を理解し、内容を説明できる。SVOC(V = 知覚動詞、C = 動詞の原形) / SVOC(V = 知覚動詞、C = 過去分詞)を理解し運用できる。							
		8週	前期達成度試験 Lesson 4 Sesame Street	既習事項を整理できる。Lesson 4の英文を理解し、内容を説明できる。SVOC(V = 使役動詞have / make、C = 過去分詞)を理解し運用できる。							
	2ndQ	9週	Lesson 4 Sesame Street	Lesson 4の英文を理解し、内容を説明できる。help + O + 動詞の原形を理解し運用できる。							
		10週	Lesson 5 From Landmines to Herbs	Lesson 5の英文を理解し、内容を説明できる。関係代名詞(主格)、前置詞 + 関係代名詞を理解し運用できる。							

後期	3rdQ	11週	Lesson 5 From Landmines to Herbs	Lesson 5の英文を理解し、内容を説明できる。関係代名詞の非制限用法を理解し運用できる。	
		12週	Lesson 5 From Landmines to Herbs	Lesson 5の英文を理解し、内容を説明できる。関係副詞の非制限用法を理解し運用できる。	
		13週	Lesson 6 Murals - The Power of Public Art	Lesson 6の英文を理解し、内容を説明できる。助動詞、助動詞の過去形を使った表現を理解し運用できる。	
		14週	Lesson 6 Murals - The Power of Public Art	Lesson 6の英文を理解し、内容を説明できる。助動詞 + have + 過去分詞を理解し運用できる。	
		15週	Lesson 6 Murals - The Power of Public Art	Lesson 6の英文を理解し、内容を説明できる。完了不定詞を理解し運用できる。	
		16週	前期定期試験	既習事項を整理できる。	
	4thQ	3rdQ	1週	Lesson 7 "Englises" in the World	Lesson 7の英文を理解し、内容を説明できる。分詞構文を理解し運用できる。
			2週	Lesson 7 "Englises" in the World	Lesson 7の英文を理解し、内容を説明できる。受け身の分詞構文を理解し運用できる。
			3週	Lesson 7 "Englises" in the World	Lesson 7の英文を理解し、内容を説明できる。完了形の分詞構文を理解し運用できる。
			4週	Lesson 7 "Englises" in the World	Lesson 7の英文を理解し、内容を説明できる。完了不定詞を理解し運用できる。
			5週	Lesson 8 Deepika Kurup - The Science Behind Clean Water	Lesson 8の英文を理解し、内容を説明できる。仮定法過去を理解し運用できる。
			6週	Lesson 8 Deepika Kurup - The Science Behind Clean Water	Lesson 8の英文を理解し、内容を説明できる。仮定法過去完了を理解し運用できる。
			7週	Lesson 8 Deepika Kurup - The Science Behind Clean Water	Lesson 8の英文を理解し、内容を説明できる。if を使わない仮定法を理解し運用できる。
			8週	後期達成度試験 Lesson 8 Deepika Kurup - The Science Behind Clean Water	既習事項を整理できる。 Lesson 8の英文を理解し、内容を説明できる。no matter + 疑問詞を理解し運用できる。
		4thQ	9週	Lesson 9 The World's Poorest President	Lesson 9の英文を理解し、内容を説明できる。同格を表すthat節を理解し運用できる。
			10週	英語学力テスト Lesson 9 The World's Poorest President	自身の英語力を正確に把握する。 Lesson 9の英文を理解し、内容を説明できる。強調構文を理解し運用できる。
11週	Lesson 9 The World's Poorest President		Lesson 9の英文を理解し、内容を説明できる。倒置を理解し運用できる。		
12週	Lesson 9 The World's Poorest President		Lesson 9の英文を理解し、内容を説明できる。省略を理解し運用できる。		
13週	Lesson 10 Living in an E-Society - The Pros and Cons		Lesson 10の英文を理解し、内容を説明できる。未来完了形を理解し運用できる。		
14週	Lesson 10 Living in an E-Society - The Pros and Cons		Lesson 10の英文を理解し、内容を説明できる。		
15週	Lesson 10 Living in an E-Society - The Pros and Cons		Lesson 10の英文を理解し、内容を説明できる。無		
16週	後期定期試験		既習事項を整理できる。		

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握に必要な情報を読み取ることができる。	2	
		日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。		2		
		母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。		2		
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	

### 評価割合

	定期試験	達成度試験	レポート・各種テスト	合計
総合評価割合	30	30	40	100
基礎的能力	30	30	40	100
専門的能力	0	0	0	0